

鳩山新内閣発足についての会頭コメント

民主党主導による新内閣発足を歓迎する。閣僚には党内の実力者や連立相手の党首を配置したが、大臣経験のない閣僚が大半を占めており、鳩山首相の強力なリーダーシップが必要だ。現在の難局を乗り越えるため、全閣僚が全身全霊で日本の進路に間違いのない舵取りに専心されることを期待する。

まずは、国民の安心、安全の確保と経済の持続的な成長を実現できる日本の将来ビジョンを明示し、景気対策、雇用問題、財源問題、政治主導による行政システムの構築、CO2削減目標、外交問題など、山積する当面の課題について早急にその道筋を示していただきたい。

経済危機による世界的な信用収縮が未だに回復していない現在、本年度予算の凍結による地域経済への影響を懸念している。景気回復には何よりも財政出動を続けることが必要である。特に、民主党が掲げている“内需拡大”と“地域主権国家”を実現するためには、地域の産業と雇用を担う中小企業の活性化が不可欠である。

新政権には、平成21年度予算及び補正予算の中小企業支援政策を執行するとともに、平成22年度予算編成においても、持続的な中小企業支援策に最重点を置くよう強く要望する。

万一、不況の二番底に陥り、本格的回復の遅れを招くことになれば、地域と新政権との信頼関係を失わせることになる。商工会議所としては地域中小企業を代表する立場として、その役割と責務が重くなるとの認識のもと、新政権の施策を注視していきたい。

また、京都選出の前原議員が入閣したことについては、地元として喜ばしい限りであり、今後の活躍を期待している。

平成21年9月16日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄